

2014年12月26日

韓国ビジネスコミュニケーション学会との Memorandum of Understanding 締結の報告

国際ビジネスコミュニケーション学会(JBCA)第74回大会(於:神戸市外国語大学、2014年10月4日、5日)にて、以前より The Association for Business Communication (ABC) のアジア・パシフィック会議参加者間で交流のあった韓国ビジネスコミュニケーション学会 (Korean Association for Business Communication 以下、KABC) の会長(当時)の YungHo SuhYou 先生 (Kyung Hee University) をお招きし、“KABC: Past, Present, and Future” というテーマで基調講演を開催しました。また、KyoungSoo Kang 先生 (Tongmyong University) 他、2名の KABC メンバーによる学会発表も実施し、ビジネスコミュニケーション研究の国際的な学術交流を推進しました。

この機会において、YungHo SuhYou 先生と JBCA の林田博光 理事長により KABC と JBCA の学術交流や人的交流について話し合わせ、1年以内には Memorandum of Understanding (MOU) を締結し具体的な相互交流を始めたいという合意を得ることになりました。

その後、双方の事務局において積極的な打ち合わせが実施され、わずか2カ月後の2014年12月6日(土)に Kyung Hee University (ソウル) にて開催された、The KABC Fall Conference 2014 において、JBCA は、KABC と MOU を締結することに実現いたしました。

以下に、その内容をご報告いたします。

The KABC Fall Conference 2014 は、基調講演2件、学会発表7件という充実したボリュームを持つとともに、それぞれビジネスコミュニケーション研究に多くの示唆を与える有意義な内容になりました(詳細は、大会プログラムをご覧ください)。JBCA からは、信達郎先生(国士舘大学)による基調講演“Business Communication for the New Asian Age”を始めとして、藤尾美佐先生(東洋大学)、Yeon Kwon Jung 先生(関西外国語大学)、小林猛久(和光大学)の3件の学会発表がなされましたが、参加された KABC メンバーの活発な質問やコメントなどから、彼らが JABC の活動や今後の学術的交流などに対して強い関心を持ってくれたことを実感いたしました。

学会発表終了後、JBCA 林田理事長と KABC YungHo SuhYou 会長(当時)の間で、MOU の調印式がおこなわれ、両学会が公式に学術的な共同研究を推進するとともに、双方の年次大会に講演者を迎え合うなどの人的交流を実施する連携協定が誕生いたしました。今後は、ビジネスコミュニケーションに関する日本と韓国の比較研究やアジアのビジネスコミュニケーションというカテゴリーにおける共同研究、他のアジアの地域との連携なども期待できますので、JBCA にとりまして国際的な学会活動を活性化するための大きな一歩になったと確信しております。会員各位におかれましては、KABC との共同研究や人的交流に積極的にご参加を頂ければ、幸いに存じます。

以上、簡単ではございますが、KABC との MOU 締結完了のお知らせを申し上げます。

文責: 本部事務局 小林猛久 (和光大学)



MOU 署名後に記念撮影
YungHo SuhYou 会長（左）・林田博光 理事長（右）



信先生による基調講演



KABC 事務局と JBCA 参加者



Memorandum of Understanding